

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0102101 - 08000

京都府南丹市
作成日: 平成21年05月11日

事業名	職員厚生費	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等				所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体				企画管理部 人事秘書課 担当: 竹内大槻
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 463 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)		<input checked="" type="checkbox"/> その他 ((財)京都市市町村職員共済組合、(財)京都工場保健会)				
		関連法令・条例等	労働安全衛生法				

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
職員の健康管理を図り、組織としての生産性向上させるため、職員健康診断等の実施を含めた安全衛生管理を実施。
- ②事業を実施する必要性
職員の健康管理は事業主の責務である。(安全配慮義務)
- ③未実施事項
安全委員会の設置ができていない。
産業医の選任が受け入れ先がないため遅れた。
(健診機関との合意により21年5月選任、6月委員会設置予定)
- ④他にも効果が見込める施策があるか
特になし

【事業費の推移】

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額		千円	3,153	3,201	3,705	5,872	5,872
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
一般財源		千円	3,153	3,201	3,705	5,872	5,872
職員等従事人員		人/年	—	—	0.50		
人件費		千円	—	—	3,095		
事業費総額		千円	—	—	6,800		

【主な支出の内訳】

職員定期健診 (巡回健診受診) 3,110千円 (委託料)
 職員定期健診 (人間ドック受診) 594千円 (委託料)

【近隣市町村の取り組み状況】

職員の健康管理は事業主の責務であり、職員が心身ともに健康で業務を遂行できるよう努めなければならないことから、全自治体で実施されている。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
職員のメンタルヘルス対策、長時間労働対策、メタボ対策については、全庁的な取り組み・PRが必要ではないか。
- ②当該事業のアピール事項
活力ある快適な職場環境を形成し、住民サービス向上に寄与する。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
安全衛生委員会による職場巡視や衛生管理者の育成に努め職場環境を整えることにより、職員の健康被害や公務災害等を防止していく。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	463	事業名	職員厚生費			
事業CD.	102101-08000	細事業名				
所管部局	企画管理部	所管課	人事秘書課	担当	竹内大視	

102101-08000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
巡回健診	労働安全衛生法に定められている必要な定期健康診断を実施することにより、職員の健康状態を把握し異常の早期発見に努めた。(市内4ヶ所の巡回健診受診)	平成20年8月25日～29日及び12月16日	受診者: 正職員326人 臨時・嘱託職員179人
人間ドック	労働安全衛生法に定められている必要な定期健康診断を実施することにより、職員の健康状態を把握し異常の早期発見に努めた。(各検診機関の人間ドック受診)	平成20年度内	受診者: 正職員106人